



# ユネスコエコパーク通信

## 綾ひやらひやーつウォーク お披露目イベントを開催します！

里山を歩きながら、自然や歴史・文化を楽しむ「綾ひやらひやーつウォーク」(ひやらひやーつとは、綾の方言で、ずらっと並んでいる様子)。これまで、町民やてるはの森の会で作る「地域づくりワーキング」で上畑、宮原、馬事公苑・綾城周辺の3つのウォーキングコースの整備、コース地図の作成、ガイドの養成講座の開催などを行ってきました。広報あや2月号にチラシを同封しましたが、ウォーキングコースの完成を記念し、お披露目イベントを行います。里山の自然の中をのんびり歩く「大人の遠足」で、地元良さを再発見しましょう！もちろん、子どもも参加できます。皆さんの参加をお待ちしています。



### ◎コース／

・上畑コース(野菜の詰め合わせ付き)

・宮原コース(「綾の食卓」でのドリンク休憩付き)

※同日開催のためいずれかのコースをお選びください

◎日時／3月20日(月・祝)午前9時

20分に上畑または宮原公民館集合、9時30分出発(約2時間)

◎参加費／1000円(保険料、ガイド料を含む)

◎定員／各20人程度

◎応募締切／3月10日(金)

※3月4日(土)に実施する馬事公苑・綾城コースは、募集を終了しました

■問い合わせ・申込先／

(一社)てるはの森の会 ☎3517288



## コラム

### ニホンアカガエル

春の訪れとともに、一番先に産卵を始めるのが、アカガエルの仲間です。

1月から3月にかけて、浅い池や水たまりなどに球形のゼリー状の塊が見られたら、このカエルの卵かもしれないかもしれません。1つのゼリーの塊の中には数百〜数千個の卵が詰まっています。

ほかのカエルがまだ冬眠している早春の寒い時期に産卵のために一度目覚め、産卵後再び冬眠する習性を持っていきます。幼体やオタマジャクシを狙う、ヘビや水生昆虫がまだ活動していない寒く厳しい時期に命がけで卵を産む、アカガエルの生き残りかけた戦略なのです。

